



東広会ニュース

1月号

2018年(平成30年)

Vol.163

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

新春を祝う「賀詞交歓会」開催

新年恒例の東広会主催 平成30年「賀詞交歓会」を1月9日(火) 18時から飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントで開催した。

交歓会には、東日本旅客鉄道(株)常務取締役事業創造本部長 新井健一郎様、同執行役員事業創造本部副本部長 表 輝幸様、(株)ジェイアール東日本企画常務取締役交通媒体本部長 橘 修様、(株)東京メディア・サービス代表取締役社長 西崎俊文様、公益社団法人日本鉄道広告協会会長 今木甚一郎様はじめ多数のご来賓をお迎えし、総勢約284名の参加者が懇親を深め、新年に相応しい賑わいで盛大な交歓会となった。

会場では、壇上での挨拶に代え新井健一郎JR東日本常務取締役、原口宰東広会会長の「新年のごあいさつ」が配られた。(挨拶文掲載)



新春を祝い、乾杯の首頭をする
JR東日本 新井常務取締役

東日本旅客鉄道(株)常務取締役 事業創造本部長 新井健一郎様のごあいさつ

新年にあたりまして、年頭のご挨拶を申し上げます。

旧年中は格別の御高配を賜り有難うございました。また、日頃よりJR東日本ならびに弊社交通広告をご利用いただきまして、心から御礼申し上げます。

昨年の弊社を振り返りますと、会社発足30年という大きな節目を迎える中、「新幹線YEAR2017キャンペーン」の実施や、クルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」の運行開始など、多くのお客さまに、鉄道をご利用した魅力ある旅を提案してまいりました。

また、優れた事業アイデアを有するベンチャー企業の方々と協業を行う「JR東日本スタートアッププログラム」を開催し、新たなビジネスやサービスの創出に向けての取組みを行ってまいりました。

弊社は、2020年以降も成長し続ける企業をめざし、お客さまの信頼と期待に応える質の高いサービスの提供を一層加速させるべく、昨年11月に「生活サービス事業成長ビジョン(NEXT10)」を策定しました。弊社グループを取り巻く厳しい経営環境の中で更なる成長を続けていくため、これまでのビジネスに磨きをかけるとともに、新たに「のびる」「ひらく」「つなぐ」「みがく」の4本の柱を掲げ、「駅を中心とするビジネス」から「くらしづくり(まちづくり)」へ挑戦し、駅の個性を磨き、街の魅力向上に努めるとともに、事業の変革及び創造を行ってまいります。

今後も、本日お集まりいただいている皆様引き続きご愛顧いただける商品企画や、次世代の広告媒体の開発に、なお一層邁進していく所存でございます。本年もご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。皆様のご健康と各社様の益々のご発展を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

東日本鉄道東京広告会会長 原口 幸あいさつ

2018年の年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

旧年中は東日本鉄道東京広告会の活動に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございました。またJR東日本を中心とした交通広告を様々な広告主様にご提案いただくとともに新たな取り組みに対しご理解を賜りましたこと重ねて御礼申し上げます。

昨年の交通広告の状況を振り返りますと、一昨年に引き続き極めて厳しい一年ではありましたが、交通広告の新たな価値創造をめざし、ネットワーク商品の開発や、デジタルメディア領域の拡充、各種の販売施策の展開に注力いたしました。



中締めをする東広会 原口会長

具体的には、前年に引き続き首都圏における鉄道ネットワークを活かした「首都圏11社局中づりネットワークセット」

を販売するとともに、新たに「首都圏11社局まど上ネットワークセット」を設定・販売を開始し、クライアント様の様々なニーズにお応えするべく広告商品の拡充を推進いたしました。またデジタルメディア領域では、山手線E235系の2019年度末全編成投入完了に向け本格投入が開始され、トレインチャンネルに加え、新たなサイネージである「まど上チャンネル」「サイドチャンネル」の放映が開始されました。特に3面サイネージである「まど上チャンネル」では、クリエイティブが重要なポイントとなり、より多くのクライアント様に活用いただくことをふまえ、山手線まど上ポスターとのセット販売を推進するとともに、単独での販売も開始することにより、新たな交通広告のコミュニケーションツールとしての魅力作りに注力しました。

本年は交通広告業界にとって2020年を意識した取り組みが活発化することから、昨年にもまして新しい取り組みを積極的に推進するとともに、引き続き他のメディアと競争して、クライアント様にご出稿いただける交通広告の価値向上に全力を挙げてまいります。

皆様には本年も何卒ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

皆様のご健勝と各社様の益々のご繁栄を祈念して、新年のご挨拶とさせていただきます。

原宿駅で「原宿スーパージャック」の展開を実施

原宿駅において駅ポスターセット「原宿ハーフジャック」とSPメディアの「集中貼り」を同時掲出する「原宿スーパージャック」の展開が実施された。

広告主は株式会社リクルートライフスタイルで、「ホットベッパビュートリー」のPRが行われた。

「原宿スーパージャック」は、原宿駅竹下口につながる改札内通路壁面のポスター板20面に大型サイズで連続掲出が可能な駅ポスターセット「原宿ハーフジャック」と原宿駅表参道



原宿ハーフジャック

口につながる改札内通路壁面にBOPポスター12面に大型サイズで連続掲出が可能なSP媒体「集中貼り」に同時掲出できるインパクトのあるメディアである。

原宿駅の2つの改札口につながる駅構内通路を1クライアントでジャックした今回の展開は、原宿駅利用者の関心を集めた。

展開期間は「原宿ハーフジャック」「集中貼り」とともに12月4日(月)から12月10日(日)まで。



原宿駅集中貼り

<2017年度 第3四半期 媒体別売上実績>

(単位:百万円)

媒体		第 3 四半期			4 月 ～ 12 月累計		
		2017 年度	前年比	増減	2017 年度	前年比	増減
車両 メ デ ィ ア	3 線群 中づり	946	84.8%	-170	3,255	100.3%	9
	3 線群 まど上	803	96.7%	-28	2,426	91.9%	-215
	ドア横新B	784	99.9%	-1	2,490	104.2%	101
	ステッカー	723	102.9%	20	2,075	105.1%	100
	東海道 / 宇都宮・高崎線、 地方線、新幹線 他	282	87.5%	-40	853	98.1%	-17
	ADトレイン等	216	84.4%	-40	612	82.5%	-130
	車体広告	145	128.7%	32	264	85.0%	-47
	トレインチャンネル	2,146	95.2%	-108	5,796	93.0%	-438
計		6,044	94.8%	-334	17,770	96.5%	-636
駅 メ デ ィ ア	駅ポスター	587	94.0%	-38	1,704	99.0%	-18
	SPメディア	824	88.8%	-103	2,154	95.3%	-105
	サインボード	1,897	99.0%	-20	5,752	99.0%	-61
	フリーペーパーラック 店舗ラッピング	136	91.5%	-13	409	86.6%	-63
	J・ADビジョン	545	111.9%	58	1,568	111.9%	167
	デジタルサイネージ	135	163.3%	52	367	193.2%	177
	計		4,124	98.5%	-63	11,952	100.8%
その他（工事 他）		12	70.9%	-5	45	66.1%	-23
総計		10,180	96.2%	-402	29,767	98.1%	-563

J企「2017年度第3四半期売上」まとまる

J企交通媒体本部の2017年度第3四半期売上は、101億80百万円、対前年96.2%となった。メディア別では車両メディアは対前年94.8%で、駅メディアは対前年98.5%となった。2017年4月から12月累計では、297億67百万円となり、対前年98.1%となった。

■車両メディア(第3四半期実績
60億44百万円、対前年94.8%)

『3線群中づり』『3線群まど上』

は、大口出稿の減少等により前年度を下回った。

『ドア横新B』は、割引販売等に

より前年度を下回ったが、『ステッカー』は、積極的な販売等により前年度を上回った。『ADトレイン等』は山手線への出稿が減少したこと等により前年度を下回ったが、『車体広告』は、逆に山手線への出稿が増加したこと等により前年度を上回った。

『トレインチャンネル』は、企画商品の積極的な販売等を行ったものの前年度を下回った。

■駅メディア(第3四半期実績41億24百万円、対前年98.5%)

『駅ポスター』は、『一般ポスター』『セット商品』ともに前年度を下回った。

『SPメディア』は、『イベント』『SPボード等』は前年度を上回ったが、『集中貼り』『自動改札ステッカー』において前年度を下回り、全体で前年度を下回った。

『サインボード』は、東京駅等で新規計画開発を行い前年度に引き続き「予約販売」等の販売に努めたが、工事支障等の影響により前年度を下回った。

『J・ADビジョン』は、企画商品の積極的な販売を実施したこと等により前年度を上回った。

「横浜中央通路ライトアップシート」の展開を実施

横浜駅のSP媒体「横浜中央通路ライトアップシート」の展開が実施された。

広告主は学校法人東海大学である。「横浜中央通路ライトアップシート」は、横浜駅中央通路の6つの柱に、ライトアップされた広告が連続して掲出できるメディアであり、今回の展開は横浜駅利用者の関心を集めた。

展開期間は12月11日(月)から12月17日(日)まで。



横浜中央通路ライトアップシート

山手線10編成で「車体広告」の展開を実施

山手線10編成において「車体広告」の展開が実施された。

広告主は東京ガス株式会社である。車体広告は電車車体を1クライアントの広告でジャックできるメディアであり、今回の東京ガスの電気100万件突破キャンペーンの山手線10編成を使用した展開は、山手線利用者の注目を浴びた。

展開期間は12月3日(日)から12月16日(土)まで。



山手線車体広告

「横浜ラウンドシート」の展開を実施

横浜駅のSP媒体「横浜ラウンドシート」の展開が実施された。

広告主は学校法人駿河台学園で、「駿台予備学校 横浜校2号館」のPRが行われた。

「横浜ラウンドシート」は、横浜駅中央通路の天井部壁面に大型サイズで掲出できるメディアであり、今回の展開は横浜駅利用者の関心を集めた。

展開期間は11月20日(月)から12月17日(日)まで。



横浜ラウンドシート

「新橋地下通路デジタルシートセット」の展開を実施

「新橋地下通路デジタルシートセット」の展開が実施された。

広告主はオリックス株式会社である。

「新橋地下通路デジタルシートセット」は、J・A・Dビジョン10面とシート広告10面を同時に展開できるインパクトの高いメディアであり、新橋駅汐留口改札外地下通路をジャックした今回の展開は新橋駅利用者の関心を集めた。また同展開は山手線等9路線のトレインチャンネルでも放映された。

展開期間は11月27日(月)から12月3日(日)まで。



新橋地下通路デジタルシートセット

作業責任者安全講習会の開催

平成29年度下期「作業責任者安全講習会」が2月20日(火)から23日(金)の4日間、池袋メトロポリタンプラザビル12階第1会議室で開催される。

この安全講習会は、「作業責任者としての任務及び誘導員等の任務の習得」を目的とした安全への取り組み、教育指導の周知を図るもので、駅構内で作業を行なう広告会社関連の作業責任者だけでなく、駅構内で調査などを行なう社員等も対象とした幅広い講習会となっている。

現在、作業責任者に登録されている方も継続受講者として全員が受講することとなり、受講されなかった場合は、(作業責任者登録証)が失効となりますので注意して下さい。

※詳細は東京メディア・サービス

設備管理部 安全指導課

(電話) 03・5391・1246

事務局からのお知らせ

会員の代表者、所在地等が変更になった場合、変更届書類は東広会ホームページ「各種変更届」にご用意してございますので、ご記入の上、事務局あてにお送り下さい。